



平成 29 年 1 月 12 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 修
(コード番号 8095 東証第一部)
問合せ先 取締役経理財務部長 熱海正昭
(TEL. 03-3279-0481)

減損損失（特別損失）の計上及び通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 28 年 11 月期第 4 四半期の決算会計期間におきまして、当社の連結子会社が下記のとおり減損損失（特別損失）の計上を行うとともに、平成 28 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 28 年 11 月期（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の連結子会社であるメルテックス株式会社が保有している固定資産について、不動産時価の下落並びに継続的な営業損失の計上により減損の兆候が認められたことから、不動産鑑定評価及び将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 1,043 百万円を計上することといたしました。

2. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 平成 28 年 11 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	56,000	850	900	450	13 円 33 銭
今回実績値 (B)	55,121	977	1,071	△593	△17 円 74 銭
増減額 (B - A)	△878	127	171	△1,043	—
増減率 (%)	△1.6	14.9	19.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 11 月期)	55,422	559	694	△143	△4 円 26 銭

(2) 差異理由

売上高、営業利益および経常利益につきましては、当初の見込み通りに順調に推移いたしましたが、上記の減損損失を計上することによって、親会社株主に帰属する当期純損失は 593 百万円となりました。

以上